

ハワイ大学臨床実習

はじめに

この度幸いにも 2022 年 4 月 4 日~4 月 29 日の 4 週間にわたってハワイ州オアフ島にある Kuakini Medical Center での実習を行うことができました。この場をお借りして、高知大学医学部の教職員の皆様をはじめ、私の実習をサポートしていただいた方々に感謝申し上げます。私の派遣が高知大学の国際交流を再開していく上で少しでもお役に立てればこれ以上名誉なことはございません。

Internal Medicine (2022/4/4~2022/4/22)

最初の 3 週間では Kuakini Medical Center(KMC)の Internal Medicine(内科)で実習をしました。A~D の 4 チームがあり、その内の一つに属するという形で活動をしました。それぞれのチームは一般的に Medical School を卒業後 2~3 年となる Resident、卒後 1 年目となる Intern、ハワイ大学医学部の Medical Student の 3 人で構成され、私たち他国からの実習生は Medical Student に準ずる Observer として扱われました。各チームはそれぞれ常時 5 人前後の患者を抱え、毎朝患者のバイタルや夜中に起きた出来事を確認し、回診をおこなったあと、治療方針の確認やその日に行う医療行為などをチーム内で議論し、その後、上級医である Attending に対してプレゼンテーションを行いました。Medical Student も常に 2~3 人程を担当し、電子カルテを記入し、Resident や Intern の協力の下、患者の治療方針や投与する薬剤の種類や量を調べ、考え、Attending にプレゼンテーションを行っていました。私も途中から 1 人の患者を担当し、チームの協力の下、毎日 Attending にプレゼンテーションをしました。昨年での日本での実習では、コロナ禍の影響で担当患者と触れ合う経験があまり得られなかったもので、調べることも多く、難しさもありましたが、いい経験となりました。

また、Medical Student は上記のようなことだけでなく、患者の家族に患者の病状について説明を行うなど、責任ある医療者として働くことが求められ、チームの一員として扱われているのだと感じました。

Internal Medicine では、チームごとに 4 日に 1 回 call day といって入院受け入れ・当直の仕事を回していました。内科へ入院する患者はその日の call day チームの担当患者として、それ以降も様子を見ることになっていました。アジア系、白人、ポリネシア系など人種的に多様な方々や、英語が話せずに Google 翻訳を使ってコミュニケーションを取らなければならない方など、日本での実習で出会うことが少ない患者が来院され、とても印象的な時間でした。

Internal Medicine での一日

- ・ 6:00 am Kuakini Medical Center に到着、担当患者の夜の様子や朝の検査値を確認し、患者の様態を確認する
- ・ 7:00 am 上級医による Lecture や Morning Case Report で 1 チームが自分たちの担当患者で興味深い症例を他チームにシェアし、ディスカッションを行う
- ・ 11:00 am ICU Round
- ・ 11:30 am チームの患者の様子やその日の治療について上級医にプレゼン
- ・ 12:15 am Lunch
- ・ 1pm 上級医とのプレゼンをもとに行うことにした治療についてのオーダーや患者家族との面会など
- ・ 4:00 pm 通常時解散
- ・ 8:00 pm call day 解散

Family Medicine (2022/4/23~2022/4/29)

最後の一週間では Dr. Tokeshi(渡慶次)のもとで学ばせていただきました。沖縄出身の先生はハワイで何十年にもわたり、家庭医として働き、その年の全米でトップのプライマリーケア医に与えられる賞を何度も受賞するなど、ハワイを代表される医師の一人です。先生は患者を師と仰ぎ、患者を通じて医療者は医学を一生かけて学んでいくものであるとおっしゃられていました。先生は剣道を嗜まれ、日々の診療でも「型」を大事にされていました。それは診察の順序や聴診器の持ち方などとても細分化されており、効率的かつ迅速に診察を終えるために作られていました。患者に対する言葉遣いや態度などをもとても大事にされ、診察技術だけでなく、それらについても教えていただきました。

先生は、とても人情に厚く、実習が終わっても、帰国までとても気にかけてくださりました。また、ハワイに移られて約 50 年が経つとのことですが、自身のルーツである日本、沖縄に誇りを持たれ、文化や歴史についても深い造詣を持たれていました。

Family Medicine での一日

- ・ 6:15 am Kuakini Medical Center に到着、Dr. Tokeshi の入院患者 6 名ほどの回診
- ・ 7:30 am Dr. Tokeshi のオフィスへ移動、回診についての報告
- ・ 8:00 am 診察開始
- ・ 12:00 am 解散

出合い

この実習では多くの貴重な出合いもありました。私と同時期に本学以外の大学から医学科 6 年生 2 名が実習に来ており、お互いに協力して実習を送ることができました。また、3 月に実習を行っていた医大生、5 月に実習を行う医大生達にも会うことができました。さらに、Kuakini Medical Center で研修をされていた先生方、ハワイ最大の病院 Queens Medical Center で働かれている先生など、医師の方々との出合いもとても刺激になりました。内科で同じチームに属していた Medical Student の一人のもと

でも良くしてもらいました。彼の家にも招待していただき、私の誕生日を祝ってくれたことは生涯忘れることのないとても良い思い出になりました。

おわりに

今回の実習ではとても充実した時間を過ごすことができました。それは単に病院での実習が興味深かっただけでなく、そこで知り合えた人々との出会いや自分の立ち位置の再確認ができたからです。互いをよく知る同級生と母校の附属病院で実習を送ることも勉強になりますが、外に出てみることで得られることもあると再確認できました。

ハワイからの帰国便で「ボヘミアン・ラブソディ」が上映されていました。その映画の一節に次のような言葉が出てきました。“Fortune favors the bold” 英語圏で使われる諺の一つで、日本語では「幸運は勇者に味方する」などと訳され、意味としては、幸運や成功は何事にも恐れず、行動する人に訪れるというものです。100年に一度のパンデミックや20年ぶりの円安など、私達はこれまで以上に守りに入りやすい状況下にあると思います。しかし、このような状況下だからこそ、簡単なことではないですが、私は「勇者」であり続けたいと強く思いました。